



2023年5月17日

ASF株式会社

商用軽バン電気自動車「ASF2.0」販売開始

ASF株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：飯塚 裕恭、以下「ASF」）は、佐川急便株式会社（以下「佐川急便」）および株式会社マツキヨココカラ&カンパニー（以下「マツキヨココカラ」）へ、商用軽バンの電気自動車「ASF2.0」の納車を2023年4月より開始しました。



※ボディカラー ホワイトバージョン

1. 「ASF2.0」について

（1）背景・目的

グローバルベースで脱炭素に向けた潮流が大きくなり、日本においても2050年をめどにカーボンニュートラルの実現が求められています。温室効果ガスの排出削減は物流業界としての課題でもあり、ASFは温室効果ガスを排出しない環境にやさしい電気自動車「ASF2.0」を佐川急便・マツキヨココカラへ導入することで、カーボンニュートラルの実現に向けた両社の取組みをサポートします。

（2）概要

2023年4月より、佐川急便・マツキヨココカラの関東圏の事業所へ初回導入でそれぞれ複数台の「ASF2.0」を納車しました。両社において、2023年5月から実際の業務で「ASF2.0」が稼働する予定です。両社は今後も「ASF2.0」の導入台数を順次拡大していく方針です。

「ASF2.0」は、配送業務における使いやすさを追求して開発した電気自動車となっています。今回、佐川急便・マツキヨココカラ両社には、電気自動車として環境にやさしいということに加え、車両の性能についても評価いただき導入に至りました。

今回導入した「ASF2.0」の主な機能は以下の通りです。

項目	機能概要
一充電走行距離	209km（メーカー推定値、国内軽車両EVでは最長*1）
充電目安時間	普通充電器 6～7時間 急速充電器 60分*2
荷室寸法	1,690mm×1,340mm×1,230mm（荷室長×荷室幅×荷室高）
標準安全装備	自走事故防止システム、衝突被害軽減ブレーキ、障害物警報機能（前方・後方）、前方車両発進通知機能、車線逸脱警報機能、坂道発進サポート機能等

*1 自社調べ

*2 普通充電器：充電圧 200V 充電電力 6kW 急速充電器：CHAdeMO 規格最大 80%まで

【車両開口部高・開口部幅】



2. 今後について

ASFは、「人と自然環境の共存、そして、確かな未来へ」のブランドスローガンのもと、環境にやさしい電気自動車「ASF2.0」の更なる導入を目指していきます。今後、新車種の追加などで、より多くのお客様に電気自動車をお届けすることで、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

ASF 株式会社 事業企画部（担当：松本） E-mail：info@asf-ev.com

以上